



ロータリーは
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第732回 「^{りく}戮 ^{りょく}方 ^{きょう}協 ^{しん}心」 H19・10・29

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん

〈ソング〉それでこそロータリー

〈出席報告〉

本日の出席→31名 出席率→73.81%

前々回の補正→40名 出席率→95.24%

〈ビジター紹介〉

高山ロータリークラブ 西野 徹様

〈幹事報告〉幹事 永家 柊嗣さん

◎RI本部より

- ・ロータリーアン誌
- ・ロータリーワールド紙

◎ガバナー事務所より

- ・地区補助金の募集と申請について

◎地区大会実行委員長より

- ・地区大会登録のお礼

◎濃飛分区分区ガバナー補佐より

- ・IM参加とロータリーバンド演奏のお礼

〈高山市青少年育成会議より〉

- ・「第24回家族スナップ写真展」

「第16回家庭の日図画展」の開催のお知らせ

作 品：図画・写真

応募期間：10/17～11/16まで

開催期間：11/30～12/2

会 場：高山市文化会館

〈早稲田大学WABOT-HOUSE研究所より〉

- ・研究公開・成果発表会開催のお知らせ

日時：11月19日（月）20日（火）

場所：岐阜県ロケットプラザ テクノプラザ本館

〈受贈誌〉

- ・可茂RC・郡上八幡RC・名張中央RC

〈会長の時間〉松之木 映一さん

皆様今日は

10月20～21日の平塚湖南ロータリー・高山中央ロータリー合同例会に出席されました23名の会員の皆様ご苦勞様でした。伊藤友好クラブ委員長はじめ委員会メンバーには密に連絡を取って頂き合同例会が無事に終了できました。ありがとうございます。

特にバンドメンバー7名には素晴らしいバンド演奏で懇親会を盛り上げて頂き、一層の友好を深めることが出来ました。バスを運転してくださった高原武夫さん道下さん大

変ご苦勞様でした。平塚湖南ロータリークラブには色々とお世話になりましたので、次会訪問される時には会員の皆様宜しくお願ひします。

今回は10組の夫婦が出席されました。色々な夫婦がみえると思いますかこんな話ののっていたので紹介します。

私の両親は47年前、見合い結婚をしました。母は昔から「私には好きな人がいたのだけれど、親のすすめる人と夫婦になるのが最高の親孝行になると信じ、しかたなくあなたのお父さんと一踏になったのよ」と淋しげに言っていました。

正直と言えばそれまでですが、父の子である私としては、とても複雑な心境でした。

「お父さんのこと嫌いなの？」と不安げに聞くと、「嫌いじゃないけど…大好きなのは、やっぱり昔つきあってた彼の方だわ…」

月日は流れ、父は3年前前から老人性の痴呆症、1年前から癌と闘う身の上となりました。

一時は、そんな父の過酷な運命に絶望しました。体調の不良、そして自分の妻である母のことも、娘である私のこともすっかり忘れ、自宅にいることもわからない父の様子がかわいそうでなりません。けれども、少し体調の良い時は、ご飯を食べても、入浴しても「ああ、気持ちがいいなあ。幸せだなあ」爪を切ったりヒゲを剃ったりすると「ありがとう。ありがとう」そんな言葉を繰り返す父を見て、小さいけれど本当の幸福がわが家に、年老いた父を通してやって来たのだなあと思感しました。

そんなある日、仕事から帰った私に母は、まるで若い娘のようないきいきとした表情で「あのね今日、とっても嬉しいことがあったのよ」といくぶん顔を赤らめて話してくれました。

「お父さんがね、初めてプロポーズしてくれたの」

なんでも父の下着を取り替えている時「親切にしてください。良かったら結婚してください」と、父は言ったそうです。

その日の熱々の両親の姿を私は一生忘れないでしょう。

人に対して親切にする。親切にされる。本当に大事な事だと実感させられました。

〈本日のプログラム〉職業奉仕委員長 高原 清人さん
皆さんこんにちは、職業奉仕が未だ理解がなく、右往左往している職業奉仕委員会の高原です。

創 立 1991年5月20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F
/ ☎(0577) 36-0730 / FAX (0577) 36-1488
/ E-MAIL http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事 / 永家 柊嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
 - 2 みんなに公平か
 - 3 好意と友情を深めるか
 - 4 みんなのためになるか どうか

本年度は、一つ目に「4つのテスト」の普及、二つめに「インターンシップの受け入れ状況の調査、激励」と、この2つを柱として活動しております。一つ目の「4つのテスト」の普及については、すでに会報誌と月間プログラム上に記載し啓蒙に勤めておりますので、お気づきのことと思います。

本例会は二つ目の「インターンシップの受け入れ状況の調査、激励」をテーマとして進めていきたいと思いますが、「インターンシップとは何ぞや?」ということで、ご存知の方はわかりかと思いますが、少し説明いたしますと、インターンシップとは「学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連ある就業体験を行える制度」のことで、文部科学省、経済産業省、厚生労働省や各経済団体は、積極的に推進しているようです。

さて、先般アンケート調査を行った結果、インターンシップを受け入れられた会員は10名みえます。これを多にとらえるか、少ないとらえるかは、他のデータが手元にはございませんので何ともいえませんが、手続き要覧の職業奉仕の欄に「職業指導」として「青少年の職業選択を援助する活動は、職業奉仕委員会の活動のひとつである。」と記載がございます。まさにロータリアンとしてインターンシップを受け入れることは、職業奉仕への一つの窓口として捕らえることが出来るのではないのでしょうか。本日は受け入れ会員を代表して、2名の方に発表して頂きます。

◎インターンシップのメリット

・企業にとって

インターンシップを受け入れることにより、生徒や学校を通じ、社会に対しても存在をアピールできる機会となる。また、業界全体のPR効果も期待できる。職場体験により生徒の理解が進み、新鮮な視点からの生徒の意見をj得ることもある。将来的な人材育成のもつながる。

・生徒にとって

就業現場に触れることで、学習へのやる気を起こさせる。また、将来の職業選択に備えて自らの適正、能力について実践的に考える機会となり、志望職種・職種のスムーズな決定、さらには就職後の職業への適応性を高めることにもつながる。



★インターンシップ受け入れ事例報告

・学校人数

飛騨高山高校3名・日枝中学2名・東山中学1名

・職場体験内容

業務用加工食品の製造

・生徒の取り組み状況

始業10分前には作業服に着替えており朝礼に備えていた。挨拶はしっかりなされていた。服装はマニュアル通り衛生的にされていた。作業状態は真面目に一生懸命行っていた。

・全体的な評価・所見

どちらかというと緊張感のほうが大きく人物評価はできないが真面目に取り組んでいた。

・生徒からの感想

学校で習う事と実社会で体験する事の大きな違いは責任の大きさが違う事です。

・企業人としてインターンシップについての考え

学生が社会に出る前の実体験としての場となる。やはり学校で習う事と実際に体験する事では大きな違いがあるため生徒にとっては社会に出る前の大きな経験と自身につながると思う。会社として優秀な人材確保につなげる事が出来るし、学校側からとしても生徒のより良い就職活動に協力ができるのではないかと思う。

(会報委員会 新宮 一郎)

(ニコニコBOX)

高山RC 西野 龍雄の三茶訪を心より歓迎致します。
理事 龍雄 一郎

先日の平塚湖南RCとの合同例会に参加されました皆様大変お疲れ様でした。中央クラブからのたくさんの方の参加で大変盛り上がり楽しいひとときを過ごされました事に感謝してニコニコへ
松之本 隆一さん・永家 利嗣さん

10月14日はふるま会と10月21日平塚湖南RCとの合同コンペで優勝できましたので
三橋 隆一さん

平塚お疲れ様でした。寸志をいただきましたのでニコニコへ
道下 利一さん

お花を頂きありがとうございました。
平塚湖南クラブ訪問はご苦労様でした。
相田 良博さん

妻の誕生日にはお花をありがとうございました。
田中 隆昭さん

10月27日甥の結婚式にはセブンスターの皆様演奏し、盛り上げて頂き大変ありがとうございました。バンドマスター植本さんのMCは大変好評でした。又子ビュースティーとなった長瀬君のヴェネチアはとても素晴らしい。皆様とても感謝していました。これからはマネージャーではなくメンバーとして昇格です。おめでとう!!
堀之上 康市さん

みなさん お元気ですか? 計由です。
絶好のゴルフのシーズンとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか? 私はいたって元気で新店舗にてガンバってます。是非、新製品のクラブの感触を確かめにお立ち寄りください。
計由 隆一朗さん

先週の平塚湖南ロータリー合同例会には多数の皆様(家族を合わせて31名参加)にご参加頂き交流委員長として心より御礼申し上げます。特にロータリーバンドの皆様にはお世話をおかけしました。本当にありがとうございました。湖南のメンバーのおもてなしに来年来ていただいた時にはお返しをしなくてははいけませんので、皆様宜しくお願いたします。
伊藤 正隆さん